

Internet Services ヘルプ

設定・操作編

1. このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
2. このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
3. このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

HN1370J9-2
日本電気株式会社

もくじ

1 Internet Services で設定する機能

IEEE802.1X 認証方式を使った Wi-Fi 接続の設定	4
暗号化の設定	6
HTTP の通信を暗号化するための設定	6
IPsec を使用して暗号化するための設定	7
その他の設定事例	9
IC カードリーダーの設定	9
アクセス制限の設定	10

2 Internet Services で操作する機能

プリント	12
Internet Services でプリント	12
NFC 機能でプリント	12
AirPrint	13
ユーザー認証の操作	15
登録ユーザーのパスワードの変更	15

1

Internet Services で設定する機能

IEEE802.1X 認証方式を使った Wi-Fi 接続の設定

高度なセキュリティー環境への接続

本機の Wi-Fi 接続では、IEEE802.1X 認証を使用できます。IEEE802.1X 認証方式を使用する場合は、認証局に証明書の発行を依頼し、発行された証明書を Internet Services で本機にインポートします。

補足

Internet Services で証明書をインポートするには、HTTP の通信を暗号化する設定がされている必要があります。Internet Services の操作、および HTTP 通信を暗号化する方法については、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.6) を参照してください。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. 証明書をインポートします。
 1. [システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] をクリックします。
 2. [インポート] をクリックします。
 3. [選択] をクリックし、インポートするファイル名を指定します。
 4. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
 5. [パスワードの再入力] に、同じパスワードを入力します。
 6. [実行] をクリックします。
 7. Web ブラウザーの再読み込みを行います。
3. Wi-Fi 接続とセキュリティーの設定をします。

補足

お使いの環境の認証方式によって、設定方法が異なります。

1. [ネットワーク] > [Wi-Fi] をクリックします。
2. [有効] を有効にします。
3. [SSID] に接続先の SSID を入力します。
4. [暗号化設定] で、[WPA2 Enterprise] を選択します。
5. [認証方式] を選択します。
6. [Identity] に EAP-Identity の値を入力します。
認証方式が EAP-TLS の場合は、手順 11 に進みます。

補足

EAP-Identity については、RADIUS サーバー管理者に確認してください。

7. 認証方式が PEAPv0 MS-CHAPv2、EAP-TTLS/PAP、EAP-TTLS/CHAP、EAP-TTLS/MS-CHAPv2 の場合は、[ユーザー名] および [パスワード] に WPA-Enterprise 認証用のログインユーザー名およびパスワードを設定します。
8. [パスワードの再入力] に、確認のためパスワードをもう一度入力します。
9. [ルート証明書] で、インポートした CA 証明書を選択します。

10. 認証方式が EAP-TLS の場合は、[クライアント証明書] で、インポートしたクライアント証明書を選択します。
11. [保存] をクリックします。
12. [今すぐ再起動] をクリックします。

本機が再起動し、設定した値が反映されます。

暗号化の設定

HTTP の通信を暗号化するための設定

Step1 証明書の準備

HTTP の通信を暗号化するための証明書を用意します。自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する方法と、ほかの認証局で作成された証明書をインポートする方法があります。

補足

[デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

自己証明書 (SSL サーバー用) を生成する場合

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [システム] をクリックします。
3. [セキュリティー設定] > [証明書設定] をクリックします。
4. [新規作成] > [自己署名証明書の作成] をクリックします。
5. 必要に応じて、各項目を設定します。
6. [実行] をクリックします。
7. 生成が終了したら、[閉じる] をクリックします。

ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートする場合

ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートする前に、自己証明書を生成し、HTTP 通信を暗号化するように設定してください。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [システム] をクリックします。
3. [セキュリティー設定] > [証明書設定] > [インポート] をクリックします。
4. [選択] をクリックして表示されるダイアログボックスでインポートするファイルを選び、[開く] をクリックします。

補足

インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
7. [実行] をクリックします。
8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

Step2 証明書の設定

サーバー用の証明書を本機に設定します。

補足

本項目の設定を行っていない状態では、自己生成した証明書がサーバー用として自動的に設定されます。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [システム] をクリックします。
3. [セキュリティー設定] > [SSL/TLS 設定] をクリックします。
4. [本体の証明書 - サーバー] で証明書を選びます。

注記

証明書を選べないときは、[システム] > [セキュリティー設定] > [証明書設定] にデバイス証明書が登録されていることを確認してください。

5. [HTTP - SSL/TLS 通信ポート番号] を必要に応じて設定します。

注記

ほかのポートと同じポート番号にしないでください。

6. [保存] をクリックします。
7. 本機を再起動する表示に変わったら、[今すぐ再起動] をクリックします。

IPsec を使用して暗号化するための設定

IPsec 通信で IKE 認証方式を「デジタル署名」にするときは、本機に証明書を設定します。証明書は、本体出荷時には、本機にインポートされていません。IPsec 用証明書をインポートします。インポート後、IPsec の設定をします。

IKE 認証方式が事前共有鍵の場合には、Step1 の「証明書の準備」は不要です。Step2 の「IPsec の設定」を行ってください。

注記

[デバイス証明書] または [その他の証明書] のどちらかのカテゴリーに、すでに同じ証明書が登録されている場合は、インポートできません。登録されている証明書を削除してから、インポートしてください。

補足

IPsec 用証明書としてインポートする証明書に V3 拡張 (KeyUsage) がある場合には、デジタル署名のビットがオンに設定されている必要があります。

Step1 証明書の準備

Internet Services で証明書を設定するには、HTTP の通信を暗号化する設定を行ってから、ほかの認証局で作成された証明書を本機にインポートして、IPsec 用証明書として設定します。

補足

- ・ 本機にインポートできる証明書の公開鍵は、RSA® 公開鍵 4096 ビットまで、または ECC 公開鍵の P-256/P-384/P-521 のどれかとなります。
- ・ IPsec 用には、Internet Services で作成した自己証明書は使用できません。

参照

HTTP の通信を暗号化する設定方法は、「HTTP の通信を暗号化するための設定」(P.6) を参照してください。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [システム] をクリックします。
3. [セキュリティー設定] > [証明書設定] > [インポート] をクリックします。
4. [選択] をクリックして表示されるダイアログボックスでインポートするファイルを選び、[開く] をクリックします。

補足

インポートするファイルのパスを直接入力することもできます。

5. [パスワード] にインポートする証明書に設定されたパスワードを入力します。
6. [パスワードの再入力] に同じパスワードを入力します。
7. [実行] をクリックします。
8. インポートが終了したら、[閉じる] をクリックします。

Step2 IPsec の設定

本機の操作パネルを使用して、IPsec の設定をする手順について説明します。

1. [ネットワーク] > [プロトコル設定] > [IPsec] をクリックします。
2. [有効] を有効にします。
3. [IKE 認証方式] をクリックし、IKE 認証方式を設定します。
 - デジタル署名方式の場合
 1. [デジタル署名] を選びます。
 2. [本体の証明書] をクリックします。
 3. 認証に使う証明書を選び、[保存] をクリックします。
 - 事前共有鍵方式の場合
 1. [事前共有鍵] を選びます。
 2. 事前共有鍵にする文字列を入力し、[保存] をクリックします。
4. その他の必要な設定をします。

Step3 通信先機器の設定

通信する相手機器の設定について説明します。

通信先機器では次の設定を行う必要があります。

- IP セキュリティーポリシーの作成
- ポリシーの割り当て

参照

設定方法は、通信先機器のヘルプを参照してください。

その他の設定事例

IC カードリーダーの設定

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [システム] > [プラグイン設定] をクリックします。



3. [組み込みプラグイン] から、オプション接続されている IC カードリーダーの  をクリックし、[表示] を選択します。



4. 使用する IC カードにチェックマークを付け、 をクリックします。



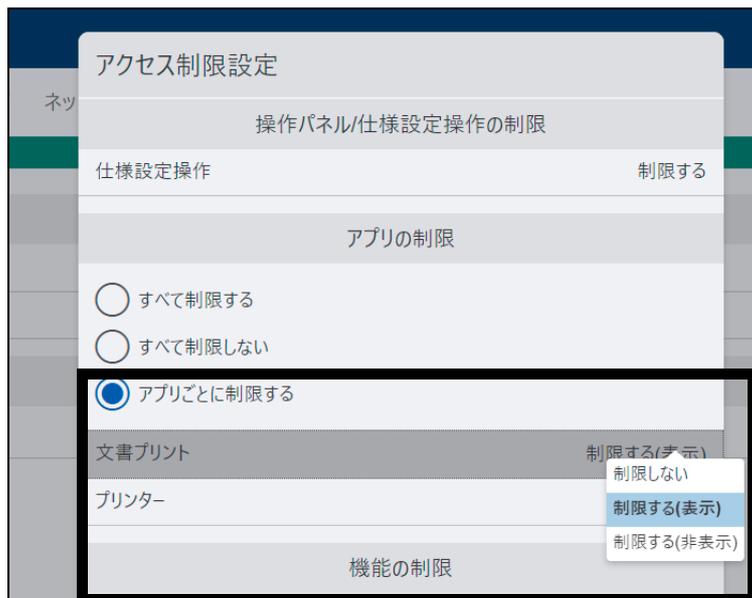
5. 必要な読み取り情報を入力し、[新しい設定を適用] をクリックします。



アクセス制限の設定

ここではアプリごとにアクセスを制限する方法を説明します。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [認証 / 集計 / 権限] > [権限設定] > [アクセス制限設定] をクリックします。
3. [アプリの制限] で [アプリごとに制限する] を選択し、アプリの操作制限を設定します。



- **制限しない**

当該サービスの操作は制限されません。

- **制限する(表示)**

本機のホーム画面に、当該サービスが鍵付きアイコンで表示されます。サービスを利用するには、認証が必要です。

- **制限する(非表示)**

本機のホーム画面に、当該サービスが表示されません。サービスを利用するには、認証が必要です。

4. [保存] をクリックします。

2 Internet Services で操作する機能

プリント

Internet Services でプリント

ファイルをプリンタードライバーを使用せずにプリントできます。

補足

CMYK の TIFF ファイルと JPEG (JFIF) ファイルには対応していません。

1. Internet Services を起動します。
2. ホーム画面下部の [プリント] をクリックします。
3. [選択] をクリックして、ファイルを指定します。
4. 必要に応じて [プリント設定] を設定します。
5. [プリント] をクリックします。

NFC 機能でプリント

モバイル機器が NFC タッチプリントに対応している場合は、操作パネルの NFC タッチエリアにタッチするだけで自動的にプリントできます。

本機の NFC 機能を利用するには、Internet Services の設定が必要です。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. [ネットワーク] > [NFC] をクリックします。
3. [アクティブタグ] と [NFC カードリーダー] を有効にします。
4. [保存] をクリックします。

AirPrint

AirPrint は、Apple Inc. が提供する印刷サービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad/iPhone などの iOS 搭載端末や macOS/OS X のコンピューターから指示した文書をお使いの機械でプリントできます。

補足

AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。

AirPrint の設定

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. 上側のメニューから [ネットワーク] をクリックします。
3. [モバイルプリント設定] の [AirPrint™] をクリックし、[有効] を有効にします。

補足

USB で接続しているときは、[USB 接続] も有効にします。

4. 必要に応じて、各機能を設定します。
5. [保存] をクリックします。

補足

設定を反映するには再起動が必要です。画面の指示に従って、再起動してください。

コンピューター側の設定 (macOS/OS X のみ)

AirPrint を使用する場合は、あらかじめお使いの機械をコンピューターに登録しておく必要があります。

補足

USB 接続を経由して AirPrint を使用する場合は、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続すると自動的に登録されるため、この設定は不要です。

1. ネットワークに接続されたコンピューターで、[Apple] メニュー > [システム環境設定] をクリックします。
2. [プリンタとスキャナ] をクリックします。
3. [+] (追加) をクリックします。

補足

[+] (追加) をクリックしたときにドロップダウンメニューが表示された場合は、[プリンタまたはスキャナを追加] を選択してください。

4. [名前] の一覧から本機を選択します。

補足

ネットワーク内のプリンターが自動的に検出されて [名前] の一覧に表示されます。表示されない場合は、本機とコンピューターのネットワーク設定を確認してください。

5. [ドライバ] > [Secure AirPrint] または [AirPrint] > [追加] をクリックします。
[プリンタとスキャナ] 画面の [プリンタ] の項目に本機が追加されます。

プリント

iOS からプリント

ここでは iPad を例に、iOS からプリント指示する手順を説明します。

1. プリントする文書を開きます。
2. メニューから [プリント] をタップします。
3. [プリンタを選択] をタップします。
4. 本機を選び、プリント設定をします。
5. [プリント] をタップします。

macOS/OS X からプリント

1. プリントする文書を表示します。
2. [ファイル] メニュー> [プリント] をクリックします。
3. [プリンタ] で本機を選択し、プリント設定を確認して、[プリント] をクリックします。

補足

本機で対応していないプリント設定は選択できません。

ユーザー認証の操作

登録ユーザーのパスワードの変更

機械管理者は、Internet Services を使用して、パスワードの設定や変更ができます。

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。
2. 上側のメニューから [認証 / 集計 / 権限] をクリックします。
3. [ユーザーアカウント一覧] から設定 / 変更するユーザーをクリックします。
4. [パスワード変更] をクリックします。
5. [現在のパスワード] に、現在のパスワードを入力します。
6. [新しいパスワード] と [パスワードの再入力] に、新しいパスワードを入力します。
7. [保存] をクリックします。